



THE ROTARY CLUB OF NAGOYA OSU  
名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

No.1204

<本年度会長方針>

大きな和を築こう

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 鬼頭 茂成 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F  
幹事 岡村 隆徳 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



第1413回例会

雑誌月間

平成25年4月25日(木)

於 名古屋東急ホテル

出席計算数 会員 64名

58名中49名出席

出席率84・48%

前々回出席率86・21%

例会プログラム

★感謝状授与

★前田社会奉仕委員長

★老人介護施設訪問報告

★林順治次年度新世代奉仕委員長

★次年度青少年交換学生募集案内

★交換留学生受け入れアンケート

ロータリーソング

「われらひまわり」

指揮者 林 富徳

ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

NPO法人日本アニマルセラピー協会

名古屋本部長 大脇 清司さん

ピッタリ

名古屋RC 島本 迪彦さん

ミニボックス

日本アニマルセラピー協会大脇様  
今日の卓話ありがとうございます。

昨日の拙僧晋山の祝いの席、大変有難うございました。住職の重責に負けず、RCを心の拠り所として精進してまいります。

鬼頭 茂成  
桑山 光俊

杉本さん卓話楽しみです。スイーツピッタリ、バッチリ!!です。

春日井和良

来月横内さんのお見舞いに那須へ行ってきました。

吉田 隆彦

春になりました。

田崎 雅三

近藤さん、歌声とても可愛かったです。

青木 靖高

大学生の息子の就職が外資系製薬会社に決まりました。

母下 富博

岡部さん、岩崎さん、鬼頭さん、

木村さん、春日井さん、皆様ありがとうございました。

妻の誕生日です。

草野 勝彦

達夫さんの誕生日です。

ウオーキング、彼が毎日一万歩、持続希望します。

私は無理!!

近藤 明美

麻雀大会優勝でした。

柴岡 正将

みなさんこんにちは。21日の日曜日

は名古屋市長選挙でした。皆さんも投票されたことと思います

が、まだ1票も開票されないうちに

に当選確実の報道がされました。

開票作業がむなしくなりますが、日本のマスコミは総てに先んじて

いるようで、なかなか複雑な思いがします。

また、その日は社会奉仕委員会の奉仕活動で、南区の老人介護施設「ゆつゆ倶楽部」で、小澤さんのハモンドオルガンと「ほこ・あ・ほこ」の歌を披露してきました。

施設の皆さんと楽しいひと時を過ごしてきました。

また、昨日は桑山さんの住職就任、晋山式をお祝いする会を行いました。

30名を超える会員が参加をして祝いました。

桑山さんもこれからは大きな期待と責任を背負っての人生になると思います。

そんな中でロータリークラブは友を得て楽しめる活動になっていくものと思えます。

期待をしたいと思います。そして今日は日本アニマルセラピー協会の大脇様に卓話を頂きまして、よろしくお願ひします。

さて、今日は粽(ちまき)の話をして頂きます。

粽はもともと中国でよく作られ食べられている物です。

平安時代に日本に伝わったとされています。

中国では竹などの葉でもちを包んで蒸しています。

何故ちまきとなったかと言いますと、日本では当初、茅(ちがや)の葉を使ったためにちまきと呼ばれるようになったということです。

今では笹の葉を使います。

先日お話しした柏餅の柏の葉や、桜餅の桜の葉などは今では殆どが中国産となっています。

ところが、この粽に使う笹の葉は中国には無くて、日本の東北が主な産地です。

柏餅や、桜餅は季節感が薄れてしまいましたが、この粽は端午の節句の時だけしかありません。

有名な京都の川端道喜の粽は葛で作っています。

この粽が基本となっているようですが、葛は冷凍が効かないので、葛の粽を販売しているところは数も、店も限られます。

ます。量販店に並ぶ粽は、葛の食感を出すように工夫してさらに美味しくして米粉で作っています。

米粉で作った粽は冷凍が効きますので、粽専門のメーカーが1年中粽を作って冷凍して、節句に合わせた日本全国に出荷します。

それを包装などで店の特徴を出して各店で販売するようにしました。

是非皆さんもこの端午の節句に粽を召し上がってください。

「清聴ありがとうございました。」

名古屋市内24RC社会奉仕委員会補助金活動卓話

「企業内メンタルチェックとアニマルセラピー」

NPO法人日本アニマルセラピー協会 名古屋本部長 大脇 清司さん

アニマルセラピーは、お年寄りや子供達だけのものではありません。

これから日本を背負って立つ企業内の社員や、奥様など多くの方たちを癒し、笑顔にする架け橋となるのがアニマルセラピストとセラピー犬です。

企業内で社員のメンタルヘルスにアニマルセラピーが活用されている例を紹介いたします。

ある会社は、営業社員が帰ってくる時間帯に「お帰りのないセラピー犬」が迎えます。

その後上司への簡単な報告を終えて、少しの時間です



がセラピー犬に向かって何やら「ひそひそ話」をしています。多分こんな会話だと思っています。「課長の高木は、いつも・・・。」「取引先の担当者につっぴりぐく叱られちゃった。」「こんな話誰も聞いてくれないお前だけだぞ、今度おやつ買ってあげようか。」

家庭においては、奥様と共通の話題についての書きます。夫婦の会話の手助けになるかもしれない。また、RC会員の皆さんはびっくりするかもしれませんが、刑務所の人たちを更生させるためのプログラムにもアーマルセラピーが採用されることになりました。盲導犬などの介助犬とセラピー犬の違いについて書きます。盲導犬の対象者は、一人です。セラピー犬の対象者は、不特定多数です。この違いは、犬の躰に大きな違いがあります。人間も犬も生まれてからどれだけ長く親と一緒に過ごすことができるかで、その後の性格に大きな影響があります。犬は人より短い命ですので少しでも長く親犬と過ごすことが理想です。

犬の躰も最近、褒めて教える方法になってきています。社員も同じように褒めて達成感



日本アーマルセラピー協会より当クラブへ感謝状が授与されました。

を味わえる様に教育するのが良いのではないのでしょうか。特にゆとり教育で育っています。勝つ喜びが薄い世代だと思います。最後に、RC会員の皆様のご健康とご活躍を祈ります。

### ■ 新入会員卓話

#### 「私の履歴書」 杉本 忠夫さん



皆さんこんにちは。今年1月に入会させて頂きました杉本です。入会してクラブ奉仕委員会に配属されまして受付をさせて頂き、比較的早く皆さんの顔と名前を覚えさせて頂くことができ、感謝しております。今日は10分という短い時間ですが、改めて新入会員として自己紹介させて頂きます。

私は昭和35年に父の実家がありました名古屋南区で生まれました。現在52歳になります。小学生のとき母の実家がありました愛知県尾張旭市に引越しまして、現在もそちらで住んでおります。妻とは同じ高校で知り合いました。高校一年のときバレンタインデーにチョコレットをもらったのがきっかけでした。35年前のバレンタインデーは今のような義理チョコなどはなくて全て本命チョコレットで私自身もらって舞い上がった

記憶があります。結婚したのが25歳の時になりますので約10年付き合いました。10年というところが長い年月になりますが、美しい言葉で言えば「大恋愛の末」という事がいえます。美しくない言葉でいいますと「年貢の納め時」であるいは「腐れ縁」という言葉がふさわしいかもしれません。

家族は2世帯住宅になります。父は5年間になくなり母と妻と3人で同居しております。残念ながら子宝に恵まれませんでした。つい数年前まで産婦人科に通っておりました。お医者さんもちょうちか欠陥があるからあきらめなさい、と言ってくればあきらめもついでたんでしょが、どこの婦人科に行っても何でできないんでしょかね?といわれるものですか、あきらめずがんばりました。残念ながらできません。今思うと10年も長い交際の間、できちゃった婚だけはしないように努力していましたが全くそんな心配も

いらず、それよりその時の方が出来ていた可能性もあったのではないかと後悔しております。22歳の時、今の会社であります株式会社森島羅紗店に入社いたしました。きっかけは業種は問わず、どんな仕事でもいいからスーツを着て仕事がしたい、というのが理由です。両親がいわゆるテーラー、注文洋服店を営んでおり、そのコネで仕入れ先でもありました森島羅紗店に入社いたしました。服地

卸業は戦後ハタ織り機が一回力チャーンと織ると二万円儲かるといわれていました。景気のいい時代、いわゆる「ガチャマン」の時代が終わり慢性不況の時代に入っております。さらに洋服のシェアは既製品が約50%、イージーオーダーが25%、注文洋服、フルオーダーが25%だったと記憶しております。年々服地の売上は減り、主要販売先のテーラーさんは高齢化が進み、ほとんどが60歳前後の職人さんばかりでした。現に私も家業を継がず、働きに出てしまっているくらいでしたから、本当に先の読めない不況業種だといえます。

私は当時森島羅紗店の跡継ぎでも血縁でもありませんでしたが、テーラーさん以外の新規顧客を開拓しないと将来はないと経営陣に訴え続け、既存の先輩社員にいろいろ文句を言われながら、新しいお客様や提携先を多く開拓し、今の礎を築くことができました。現に洋服屋さんへの生地売りは現在O.P.セントなのです。さまざまな業種の会社に私どものスーツをキャンペーンで販売していただきました。最近には特に生活協同組合様と提携させて頂き、当社のスーツを流通させて頂いていただいております。生協様はなかなか取引口座を作ってくれずハードルが高く生協様と取引していることが当社の信用のひとつになっています。最後に、当社は15名の若い小

さな会社ですが私が常に社員に言い続けていることは・・・

- ・何か新しい事にチャレンジして成功したら100点満点
- ・何か新しい事にチャレンジして失敗しても50点
- ・いけないのは何もチャレンジしない事、あるいは上司の言われたことだけやっている人、この人は0点。
- ・一番いけないのはチャレンジする人の足をひっぱる人、陰口をいう人、頭を押さえつけようとする上司、こんな人はマイナス1000点!

と、言い続けています。――下業界や家電業界と違ってなかなか技術革新のしづらい業界ですので、これくらい意識していかないと生き残れないのが現状です。すでにここにお見えになる多くの方々に当社のスーツをお買い上げ頂き感謝しております。これからモーターリオンとして頑張らせて参りますので、よろしくご指導の程お願いいたします。ありがとうございました。

## 5月16日(木) 例会の案内 SPEAK OUT DAY

広報委員会  
近藤宏一郎・林 富徳  
杉浦 令淑・青木 靖高  
\*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。